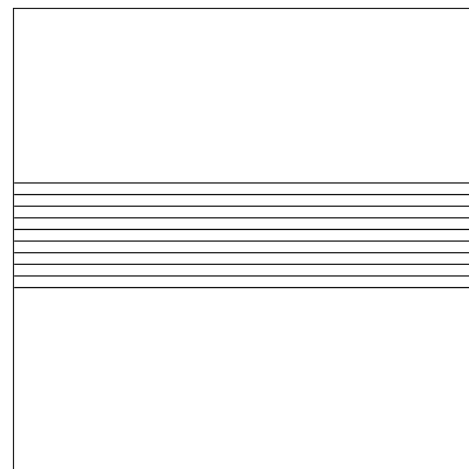


「コードとデザイン」

インタラクティブメディア学科 野口 靖 Yasushi Noguchi



東京工芸大学芸術学部インタラクティブメディア学科ソフトウェアデザイン研究室（代表：野口靖）は、2015年度より本学の重点的教育研究事業として「インタラクティブメディア教育における、プログラミングの参考書制作」研究をおこなってきました。そして、その成果を今回発表します。

本書は、デザイン、アート、情報学関連の大学に在籍する学生や、プログラミングに興味はあるけれどもちょっと敷居が高いなど感じているデザイナーやアーティストのみなさんに、プログラミングによる造形表現の楽しさを実感していただくことを目的とした参考書です。

今回、本書の中での実習としていくつかの「スタディ」を実験的におこないましたが、このスタディの内容は本学卒業生の小澤太一さん、同じく本学大学院修了生の三上航平さんと様々な議論をおこなった過程で生まれたものです。

そしてさらに、本展示のために有志の学生がこのスタディを体験し、実際に習作を制作しました。課題を提供する方も体験する方も手探りの状態で試行錯誤をしており、道半ばではありますが、「プログラミングと表現」の可能性の一端に触れられたのではないかと感じています。

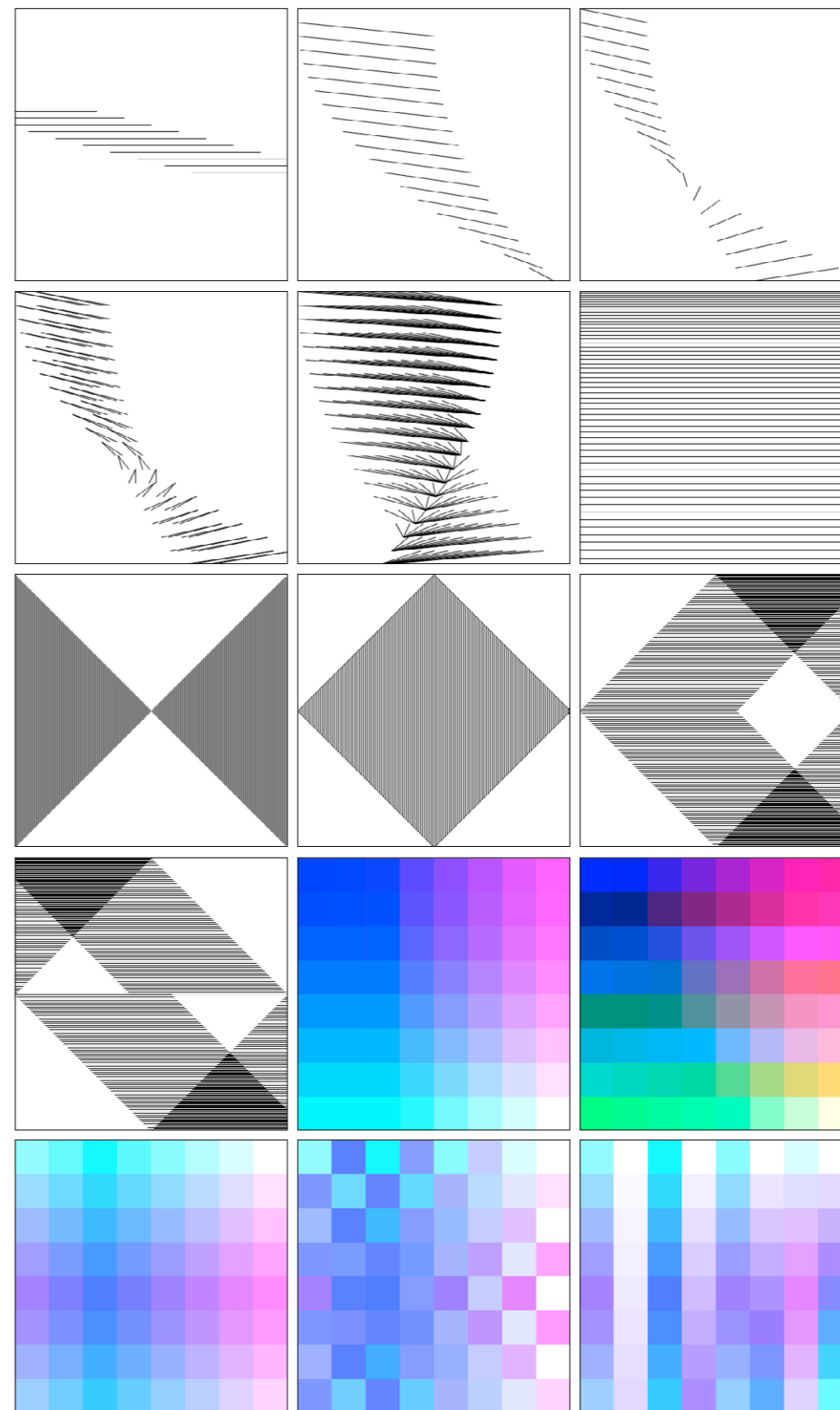
サンプル作成協力：小澤太一、三上航平

展示参加：石井晃吉、小澤太一、田村晶、仲亀ひな、濱井ひろえ、早川貴士、福田結友、藤原拓朗、三上航平



教育分野では、芸術学部学生に向けたプログラミング教育の実践をおこなっている。また、美術作家としては、地域の集合的記憶や隠蔽された社会構造をテーマに、マッピングなどの手法をもちいたプロジェクトを多く手がけている。

武蔵野美術大学助手を経て渡米。2003年 ニューヨーク大学大学院修了。文化庁芸術家在外研修員。2004年 ポーラ美術振興財団在外研修生としてニューヨークにて活動。2008年 SIGGRAPH Asia 2008 出展。2009年 アルス・エレクトロニカ Honorary Mention 選出。2013年 第5回恵比寿映像祭出展。2015年 文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品選出など。



小澤太一、三上航平によるスタディのサンプル例